

三島由紀夫

愛国という言葉は嫌いだ、愛は無制限であり、国境で区切られた愛など愛ではない。

鈴木邦男

外国人が母国に抱く愛国心を理解し、その上で日本を愛する。自分の国がすべて、日本だけが素晴らしいという考えは、思い上がった自国愛にすぎません。ただの排外主義です。愛国とは最も遠いものです。

三島由紀夫 「愛国心 — 官製のいやなことば」

実は私は「愛国心」といふ言葉があまり好きではない。
何となく、「愛妻家」といふ言葉に似た、背中ゾツとするやうな感じをおぼえる。

この言葉には官製のほひがする。また、言葉としての由緒ややさしさが
ない。

どことなく押しつけがましい。反感を買ふのももつともだと思はれるものが、
その底に揺曳してゐる。

日本人の情緒的表現の最高のものは「恋」であつて、「愛」ではない。
もしキリスト教的な愛であるなら、その愛は無限定無条件でなければならない。
従つて、「人類愛」といふのなら多少筋が通るが、「愛国心」といふのは
筋が通らない。

なぜなら愛国心とは、国境を以て閉ざされた愛だからである。

昭和43年(1968年)1月8日「朝日新聞」夕刊